

■論文の構成について

問題文：課題の抽出と分析 の分析の捉え方

NG：課題を示してから、背景の説明と問題点を示す

→ある観点において、

1. 現状説明と問題点
2. 課題を抽出
3. 課題の分析（課題解決による効果や成果、課題の解決ポイント）

分量のバランスは良い。

各設問 10 点

どこか少なすぎても NG

■内容について

あらゆる観点から

必須 I と選択Ⅲの違い

必須科目は「建設分野」という広い視点から多面的に

選択科目は「受験する科目」における多面的に

→両方とも施工体制・・・ご自分の受験科目のみ

生産性向上・・・少子高齢化、働き手不足、従来の施工方法、構造物の劣化、建設費の減少、ICT 技術の進歩。。

「労働者不足に対応する施工体制の構築」

→分析は？

「建設現場特有の施工体制の改善」

→分析は？

2. もっとも重要な課題

「建設現場特有の施工体制の改善」 挙げるだけでよい。この課題の重要性は1章に記載する。しかも理由は、以降、突然内的要因と外的要因という表現が出てくる。つながりがない。8行（約200文字）無駄。

→現場施工作業の省力化

と明確に課題だけ読んでわかるように表現する。特有って何でしょう？

解決策1：コンクリートの規格の標準化の導入

コンクリートの規格の標準化とは？

強度のことですか？

「プレキャスト化の積極的導入」

従来の施工工程を明記し、その中のどれが省力化できるのか？

「CIMの導入」・・・OK

3. 共通するリスク

普及が阻害される。

対策として、新技術の基準整備や入札での対応 OK

あとは、技術者の教育、ナレッジマネジメントも必要

4. 技術者倫理と社会持続可能性

(1)～(3)を遂行するにあたり

倫理：将来の社会の環境を考慮・・・？

道路のストック？つながりがない

現場作業の省力化をテーマにしているので、そこで倫理を記述

また、社会持続可能性も同じく

技術革新についてや、人口減少を交えてみてはどうか？

ライフサイクルコストを縮減するとどうなるのか？をもっと書く